

危険物取扱者試験 試験案内

令和6年度

お知らせとお願い

- ◆願書の提出後は、内容の変更、受験の取り止めによる試験手数料の返還はできません。
- ◆願書を提出された方は、この試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

 (一財)消防試験研究センター

大阪府支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号
近畿税理士会館・大同生命ビル6階

TEL (06) 6 9 4 1 - 8 4 3 0

FAX (06) 6 9 4 3 - 0 3 1 6

https://www.shoubo-shiken.or.jp

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により大阪府知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

◆◆ 試験の場所、日時、受験願書受付期間、合格発表予定日等 ◆◆

回数	試験会場 (所在地)	試験日 (曜日)	【電子・書面 申請】受付期間	合格発表 予定日	試験の開始時刻と 種類 ※集合時刻は開始時刻の30分前です。
第2回	大阪大学 豊中キャンパス (豊中市待兼山町1-16)	令和6年 6月23日 (日)	5月8日(水)～5月15日(水)	令和6年 7月19日 (金)	◆10時00分 乙種(第4類) ◆13時30分 甲種 乙種(全類) 丙種
第3回		令和6年 10月6日 (日)	8月20日(火)～8月27日(火)	令和6年 10月30日 (水)	
第4回		令和6年 11月23日 (土)	10月8日(火)～10月15日(火)	令和6年 12月17日 (火)	
第5回		令和7年 2月16日 (日)	令和6年 12月11日(水)～12月18日(水)	令和7年 3月7日 (金)	
第1回		※新年度 令和7年 4月20日 (日)	令和7年 2月28日(金)～3月7日(金)	令和7年 5月14日 (水)	

- (1) インターネットによる電子申請は、受付期間初日の午前9時から最終日の午後11時59分までの間、24時間受け付けます。なお、システムメンテナンスのため土曜日の午前3時から午前5時の間は受け付けできません。
- (2) 書面申請の願書の提出は、簡易書留による郵送を原則としています。(受付最終日の消印まで有効) 受付期間外に到着した願書は受け取ることができません。
- (3) 書面申請で窓口を持参される場合、受付時間は、土日祝日を除く受付期間中の午前9時から午後5時までです。
- (4) 申請者数が試験会場の定数に達した場合は、受験願書の受付を締め切ることがあります。

【試験手数料に関する重要なお知らせ】

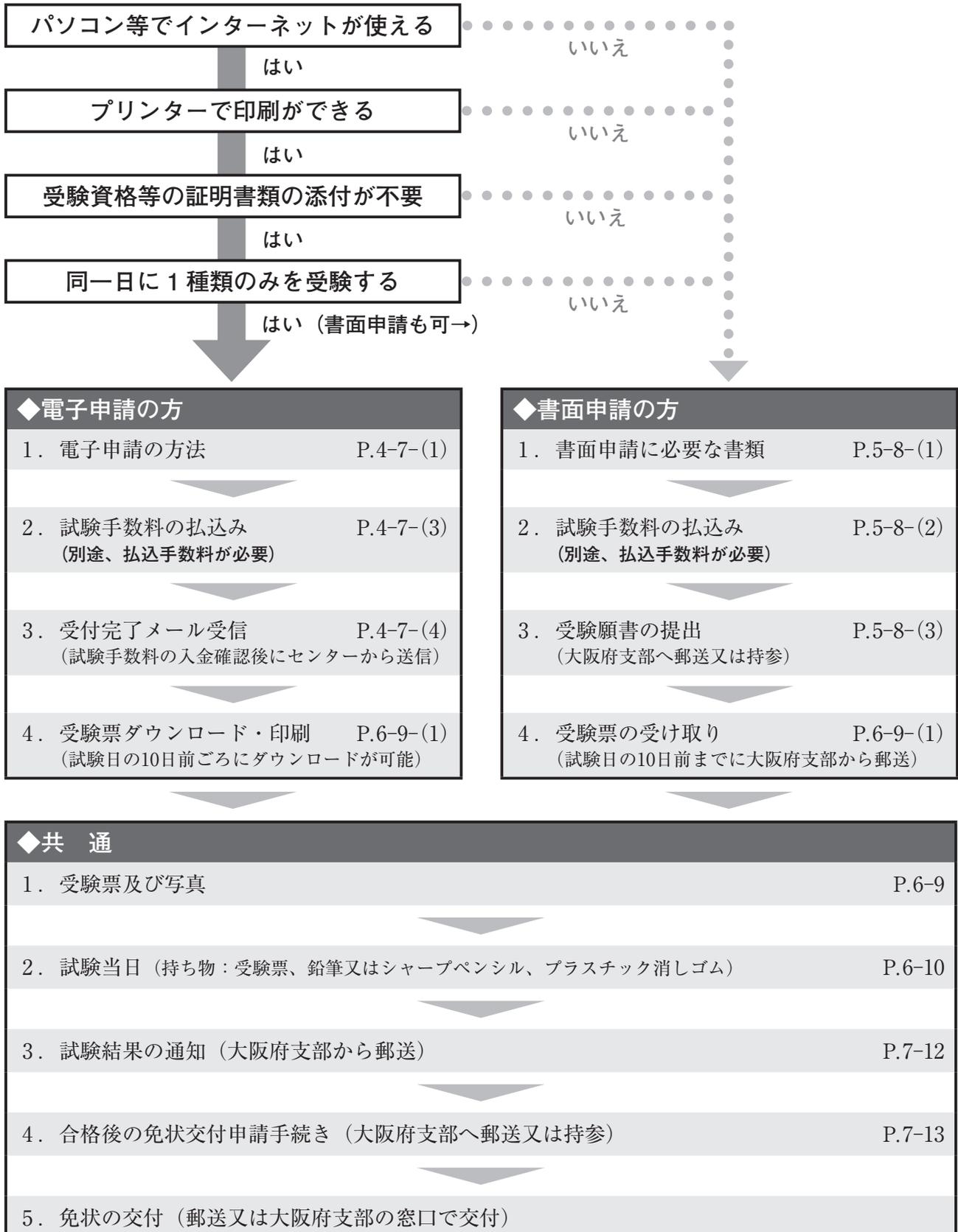
令和6年5月1日以後の危険物取扱者試験申請受付開始分から試験手数料が新料金(3ページに記載の額)となるのに伴い、大阪府支部で実施する試験は、令和6年6月23日(日)の試験(申請受付期間 5月8日(水)～5月15日(水))から新料金が適用となります。旧料金で払込まれた場合は、不足分の追加払込みが必要となりますのでご注意ください。

○新型コロナウイルス感染症対策に関する情報については、必要に応じ当センターホームページ等でお知らせします。

※自動車又は自動二輪車・原動機付自転車での試験会場への来場や送迎の駐停車は固くお断りします。

◆◆ 受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ ◆◆

- ・受験手続は、インターネットによる「電子申請」か、受験願書による「書面申請」のいずれかで申請していただきます。
- ・「電子申請」は、手続きが容易で受験願書の郵送料が不要のため年々増加しています。
- ・下記の流れに従って、「電子申請」か「書面申請」のいずれかを選択してください。



1 試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立ち合い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことができる危険物	
甲種		すべての種類の危険物	
乙種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

2 受験資格

- (1) 甲種
受験資格が必要です。
受験資格については、「受験資格及び証明書類」(P8-14(2))をご確認ください。
- (2) 乙種及び丙種
受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

3 試験手数料

試験手数料(非課税)は下表のとおりです。

甲種	乙種	丙種
7,200円	5,300円	4,200円

試験手数料は、大阪府関係条例の改正により新料金となっていますのでご注意ください。また、旧料金で支払われた場合は、差額を当センター専用の「払込取扱票」を使って再度払込みいただき、願書郵送前の場合は、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を願書B面に2枚貼り付けてください。また、願書郵送後の場合は、追加の「振替払込受付証明書(お客さま用)」のみを送付してください。

4 受験申請の方法

受験の申請は、インターネットによる電子申請と願書を郵送又は持参して提出する書面申請の2通りの方法があります。

5 複数種類の受験(併願受験と複数受験) ※電子申請では申請できません

願書は受験する試験の種類ごとに作成し、まとめて一つの封筒にいれ、封筒の表に願書の通数を記入してください。試験手数料は、それぞれに払い込んでください。

- (1) 併願受験：午前の試験と午後の試験を受験する場合は、午前の乙種第4類と午後の試験(甲種、乙種、丙種)の受験。
- (2) 複数受験：午後に同時に複数の種類を受験する場合は、既に乙種危険物取扱者免状を持っている方に限り、乙種第4類以外の乙種の試験の2種類又は3種類までの受験。
試験時間は、2種類受験で1時間10分、3種類受験で1時間45分となります。

6 乙種第4類の試験時間(午前・午後)の指定

乙種第4類の午前と午後の区分は、受験票で指定します。集合時刻を間違えないよう注意してください。乙種第4類は、午前、午後いずれの指定を受けても受験ができる状態で、出願してください。

7 電子申請の方法（インターネットによる受験申請）

（1）申請方法

下記の内容を確認し、当センターのホームページから申請してください。

電子申請ができる試験種類は1種類のみで以下の方が対象です。

◆甲種

・次の組み合わせで4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方。

●第3類（必須）

●第5類（必須）

●第1類又は第6類のいずれか

●第2類又は第4類のいずれか

◆乙種・丙種

・証明書類の添付が不要な方。

◆過去3年以内に受験された方で同じ試験種類・内容を再度受験する方。

（ただし、入力時に過去に受験した際の「受験票（控）」又は「結果通知書」が必要）

（2）電子申請するにあたっての主な留意事項は、次の通りです。

ア インターネットに接続できるパソコン又はスマートフォンを所持し、印刷ができること

※スマートフォン以外の携帯電話からは申請できません。

イ 電子メールアドレスがあること（フリーメールは不可）

ウ 危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状番号の入力が必要

（3）試験手数料の払込み

ア 試験手数料の払込方法は、次の3つから選択できます。

払込みには、所定の払込手数料（消費税込み）が必要になります。

① ペイジー（Pay-easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式

② コンビニエンス決済

（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート）

③ クレジットカード決済

（VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース）

イ 支払い期限

・仮受付完了日の翌日から3日目の23時59分までに振込みを済ませてください。

・期限内に振込みが完了しないとインターネットによる申請の受付は無効となります。

この場合は、インターネットによる申請の受付期間内であれば、再度最初から申請手続きを行ってください。

（4）受付完了メールの受信

ア 試験手数料の払込方法が①及び②を選択された方は、仮受け完了となり、お支払いの確認が完了次第、「受付完了メール」を送信いたします。

イ 試験手数料の払込方法が③の方は、お支払いの確認が完了次第、「受付完了メール」を送信いたします。

（5）注意事項

ア 車イスなど受験上の配慮を希望する方は、申請時に申し出てください。

イ 一度払い込まれた試験手数料は、理由の如何を問わずお返しできません。

ウ （一財）消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

電子申請の問合せ先

（一財）消防試験研究センター 電子申請室

電話 0570-07-1000（有料） 受付時間 平日 午前9時から午後5時まで

詳細は、（一財）消防試験研究センターホームページ(<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) に利用方法やQ&Aが掲載されていますので、ご確認のうえ、お申込みください。

8 書面申請の方法（受験願書による受験申請）

（1）申請に必要な書類

提出書類	留意点	
①受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成し、提出してください。（P14～P15の記入例参照）	
②振替払込受付証明書（お客さま用） ※郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書（B面）の指定の欄にのり付けしてください。（P15参照）	
③危険物取扱免状のコピー	既に危険物免状を1種類でも取得している方は、受験願書（B面裏）の指定の欄に免状のコピーをのり付けしてください。（P15参照） 願書A面下の「免状取得の有無について記入」欄に免状番号、交付年月日、交付番号を記入してください。	該 当 者 の み
④甲種受験資格を証明する書類	甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の貼付が必要です。（P8参照）	
⑤火薬類免状のコピー	火薬類免状をお持ちの方で、乙種第1類又は乙種第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、免状のコピーの貼付が必要です。（P9参照）	
⑥消防団員歴を証明する書類及び消防学校の教育修了証書（コピー可）	丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の貼付が必要です。（P9参照）	

（2）試験手数料の払込み ※15ページ（払込用紙）を参照

ア 受験願書と一緒にお渡しする指定の払込用紙の金額欄に受験する種類に応じた試験手数料を記入し、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください。なお、**払込手数料は申請者の負担**となります。

※「振替払込受付証明書（お客さま用）」に日附印が押印されていないと申請できませんので、**ATM機では払込まないでください。**

イ 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書（B面）の指定の欄に貼り付けてください。（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」は使用しないでください。（P15参照）

なお、**金額欄の訂正は無効**ですので、金額の記入を誤った時は、新しい払込用紙をお使いください。

ウ 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を発見し提出したときは、還付申請により先に払込まれた試験手数料をお返します。

（3）受験願書の提出及び問合せ先

一般財団法人消防試験研究センター 大阪府支部
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館・大同生命ビル6階
TEL 06-6941-8430 FAX 06-6943-0316

（4）注意事項

ア 願書の提出は、配布の封筒により、受付期間内に、郵便局の窓口から簡易書留郵便で郵送（受付最終日の消印まで有効）、又は当センター大阪府支部窓口を持参してください。（角2号（願書を折らずに入る大きさ）の封筒であれば、他の封筒でも差し支えありませんが、願書在中と記してください。）

イ 当センター大阪府支部窓口を持参する場合は、受付期間中（土日祝日を除く。）の9：00から17：00まで受け付けます。

- ウ 2名以上の願書を一つの封筒で郵送する場合は、願書提出者名とその試験種類を記載した一覧表を同封し、封筒の表に願書の通数を記入してください。
- エ 受付期間内に提出されても添付書類に不備のある願書は受け付けできません。又、願書の記入文字が乱雑で判読できない場合や、虚偽の記載、虚偽の証明書を提出した場合は、願書の受け付けを拒否し、又は受験後の合格を取り消すことがあります。
- オ 受付締切日を過ぎてから提出された受験願書は受け付けできません。この場合は、受験申請書類を返却いたします。返却費用は、本人の負担となります。
- カ 願書提出後は、願書、手数料その他提出した書類は一切お返しいたしません。又、内容の変更もできません。
- キ 車イスなど受験上の配慮を希望する方は、願書提出時に申し出てください。
- ク (一財)消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

9 受験票及び写真 ※10ページ(受験票)を参照

- (1) 受験票は、書面申請の場合郵便はがき(圧着式はがき)で、試験日の10日前までに郵送しますが、郵便事情により遅れることがあります。
電子申請の場合は、書面申請の受験票発送日に、申請時に入力されたメールアドレスに受験票がダウンロードできる旨のメールを送信します。受験者本人が受験票をダウンロードして印刷して作成してください。ダウンロードできない場合は、ホームページを参照してください。
- (2) 写真を貼った受験票がないと受験できません。受験票が到着しない場合や一旦到着した受験票を紛失した場合は、試験日の5日前までに当センターへ連絡してください。(土日祝日は休み)
- (3) 前記(2)の後、なお受験票が到着しない場合は、試験当日、直接試験会場に設置する試験本部へ、本人確認ができる身分証明書と受験票に貼る写真を持参のうえ、集合時刻の10分以上前にお越しください。
- (4) 受験票の写真が規格外であったり、本人と確認できない写真であった場合、受験できないことがあります。
- (5) 受験票の住所、氏名、フリガナなどが間違っている場合は、試験当日に試験室で試験監督員がお渡しする修正用紙に正しい内容を記入して提出してください。
- (6) 受験票に記載の集合時刻、試験室その他注意事項をよく読んで確認し、集合時刻に遅れないように、試験会場にお越しください。

10 試験当日

- (1) 持ち物
 - ア 受験票(縦4.5cm×横3.5cmの写真をのり付けし、氏名欄に署名)
※複数の類を受験する場合は、類ごとに必要です。
 - イ 鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB又はB)
 - ウ プラスチック消しゴム
- (2) 集合時刻
試験開始時刻の30分前に集合し、受験にあたっての注意事項の説明を受けてください。
- (3) 試験の方法
マークシートに記入する試験で、甲種及び乙種は5肢択一式、丙種は4肢択一式です。
- (4) その他
 - ア 次の場合は受験できません。
 - ① 受験票がない場合
 - ② 受験票に写真を貼っていない場合
 - ③ 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

- イ ボールペン、サインペンは使用できません。
- ウ 試験当日は、受験票の写真と本人の確認を行います。必要に応じて、本人確認のため係員から写真付きの身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。
- エ 電卓などの計算用器具や定規類の使用はできません。試験中にこれらの機器を使用すると不正行為となります。
- オ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）
- カ 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- キ 問題集は、持ち出し、持ち帰り禁止です。
- ク 試験会場及びその周辺は駐車禁止です。自動車や自動二輪車（原動機付自転車を含む）で来場されても受験できませんのでご了承ください。送迎のための駐停車も固くお断りしています。
- ケ 試験会場敷地内は禁煙です。
- コ 事故等により会場や日程を変更する場合には、大阪府支部からの緊急情報として当センターホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時刻の2時間前までに掲載します。
- サ 試験当日を含め試験会場への電話での問い合わせや連絡はしないでください。

11 合格基準

試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上であること。（試験科目の免除を受けた場合は、その科目を除く。一部の免除の場合は、免除された以外の問題での成績。）

12 試験結果の通知（合格発表）

- (1) 合格発表予定日は、1ページの試験日程表のとおりです。
- (2) 試験の結果は、受験者全員に試験結果通知書（圧着式はがき）を郵送しますが、郵便事情により到着が遅れることもあります。この試験結果通知書には、試験科目ごとの成績を正答率で記載しています。
- (3) 合格者の受験番号は、発表予定日の正午から当センターのホームページ上に掲示します。（HPアドレスは1ページを参照）又、当センター大阪府支部で合格者の受験番号を掲示します。
- (4) 試験結果通知書や受験票は、再受験するときの電子申請等の資料になりますので大切に保管してください。
 - ※試験会場周辺で、当センターの関係者であるかのような言動で、合否の結果通知等を有料で行う者がおりますが、当センターとは一切関係ありません。くれぐれもご注意ください。
 - ※電話による受験番号や合否の問い合わせ、また試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

13 合格後の免状交付申請手続き

試験当日に免状申請用書類一式を入れた封筒を配布しますので、大切に保管してください。「試験結果通知書及び免状交付申請書」が後日郵送されますので、合格者は、試験当日に配布した封筒に同封の「免状申請のお知らせ」をご確認の上、申請してください。

なお、免状の交付には1種類ごとに免状交付申請手数料が必要となります。

また、旧姓併記を希望する場合は、当センター大阪府支部にお問い合わせください。

14 甲種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間（甲種試験には試験科目の免除はありません。）

試験科目（ ）内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
②物理学及び化学（物化）	10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		

(2) 受験資格及び証明書類

区分	対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類（注1）
①	大学等において化学に関する学科等を卒業した者（11ページ別表1参照）	<ul style="list-style-type: none"> 大学、短期大学、高等専門学校 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 高等学校、中等教育学校の修業年限が2年以上の専攻科 専修学校（注2） 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 	[大学等卒]	卒業証書（コピー）又は卒業証明書（原本） ※学科等の名称が明記されているもの
②	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した者（11ページ別表2参照）	<ul style="list-style-type: none"> 大学、短期大学、大学院 高等専門学校の専門科目 大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 専修学校（注2） 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 	[15単位]（注3）	単位修得証明書（原本）（注4）又は成績証明書（原本） ※修得単位が明記されているもの
③	乙種危険物取扱者免状を有する者	<ul style="list-style-type: none"> 乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の者 	[実務2年]	乙種危険物取扱実務経験証明書（注5）
		<ul style="list-style-type: none"> 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第3類 ○第2類又は第4類 ○第5類 	[4種類]	既得免状欄に貼付した危険物取扱者免状（コピー）
④	その他の者	<ul style="list-style-type: none"> 修士、博士の学位を授与された者で、化学に関する事項を専攻した者（外国の同学位も含む。） 	[学位]	修了証書（コピー）、修了証明書（原本）又は学位記（コピー） ※学位取得及び化学に関する専攻等の名称が明記されているもの

※卒業証書、学位記の原寸が大きいものは、縮小コピーしたもので差し支えありません。

※証明書類が外国語の場合には、日本語訳を添付してください。

(注1) 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の「受験票（控）」又は「試験結果通知書」を提出することにより、甲種の受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）

この場合でも、危険物取扱者免状をお持ちの方は免状のコピーを貼付してください。

(注2) 専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。

・専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はそのコピー

・専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（13ページの書式例1を参照）（原本）

(注3) 大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は研究生等にかかわらず、通算して算定することができます。

又、学校教育法による通信教育、放送大学も同様です。又、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。

(注4) 「単位修得証明書」は、13ページの書式例2を参照してください。

(注5) 「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、受験願書（B面裏）に直接記入押印してください。

※旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細は、お問い合わせください。

15 乙種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 ()内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令 (法令)	15問	35問	2時間
②基礎的な物理学及び基礎的な化学 (物化)	10問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

(2) 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。受験願書に該当項目を記入するとともに科目免除の証明書類は、受験願書 (B面裏) に貼り付けてください。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間	証明書類
乙種危険物取扱者免状を有する方	第1類～第6類の受験	①法令	全部免除	0問	10問	35分	乙種免状 (コピー)
		②物化	全部免除	0問			
		③性消	免除なし	10問			
火薬類免状を有し科目免除を申請する方	第1類又は第5類の受験	①法令	免除なし	15問	24問	1時間30分	火薬類免状 (コピー)
		②物化	一部免除	4問			
		③性消	一部免除	5問			
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を有し科目免除を申請する方	第1類又は第5類の受験	①法令	全部免除	0問	5問	35分	乙種免状と火薬類免状 (コピー)
		②物化	全部免除	0問			
		③性消	一部免除	5問			

※火薬類免状とは、次の免状です。

- ・火薬類取締法に定める甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状
- ・甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状

16 丙種危険物取扱者試験

(1) 試験科目、問題数及び試験時間

試験科目 ()内は略称	問題数	合計	試験時間
①危険物に関する法令 (法令)	10問	25問	1時間15分
②燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5問		
③危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 (性消)	10問		

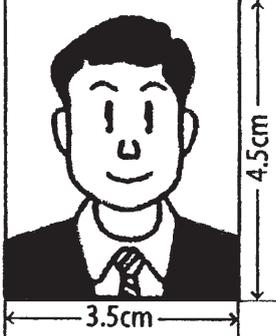
(2) 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。受験願書に該当項目を記入するとともに科目免除の証明書類は、受験願書 (B面裏) に貼り付けてください。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間	証明書類
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法令	免除なし	10問	20問	1時間00分	消防団長又は市町村長及び消防学校長が証明する書類
	②燃消	全部免除	0問			
	③性消	免除なし	10問			

※受験票は必ず記載内容を確認し、試験当日は写真を貼って持参してください。

危険物取扱者試験 受験票



4.5cm
3.5cm

受験番号	E1-0811	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名			
氏名			
試験日時	年 月 日 〇〇時〇〇分集合 〇〇時〇〇分試験開始		
試験会場 (試験室)			
免除科目		資格判定 コード	
既得免状			

- ・受験日前6か月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、上三分身像で、縦4.5cm 横3.5cmの大きさの枠なし
- ・鮮明な写真で、裏面に氏名、年齢、撮影年月日を記入

※写真用紙ではない紙に印刷（プリント）したデジタル写真は使用できません。

※しっかりとのり付けてください。

（セロハンテープ不可）

※免状を作成するときには、この写真を使用します。

- ・氏名を記入してください。

※個人情報の取り扱い

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

（1）当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

ア 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

イ 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書や受験票の表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

（2）当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称			
ア	安全工学科	コ	工業材料科
イ	医療薬学科		厚生薬学科
エ	衛生薬学科		高分子学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科
	応用生物科学科	サ	高分子材料工学科
	応用生物工学科		材料開発工学科
	応用生命科学科		材料科学科
	応用生命工学科		材料科学工学科
	応用微生物工学科		材料加工工学科
カ	環境生命科学科		材料学科
	環境物質工学科		材料機能工学科
	環境マテリアル学科		材料工学科
キ	基礎理学科		材料物性学科
	機能高分子学科		材料物性工学科
	機能高分子工学科	シ	材料プロセス工学科
	機能材料工学科		色染工芸学科
	機能物質科学科		資源工学科
	機能分子工学科		資源素材工学科
	金属加工学科		システム量子工学科
	金属学科		食品科学科
	金属工学科		食品学科
	金属材料学科		食品工学科
	金属材料工学科		食品工業科学科
ケ	原子工学科		食料科学科
	原子力科		森林資源科学科
	原子力工学科	セ	製剤学科
	原子炉工学科		製糸学科
		セ	製造薬学科
			生体機能応用工学科
			生体物質工学科
			生体分子工学科
			生物応用工学科
			生物機能工学科
			生物工学科
			生物資源科学科
			生物資源利用学科
			生物生産科学科
			生物分子科学科
			生物薬学科
			精密素材工学科
			精密物質学科
			生命理学科
			製薬学科
			繊維工学科
			繊維高分子工学科
		ソ	総合薬学科
			総合薬品科学科
			素材工学科
		ト	塗装科
		ハ	醗酵工学科
			醗酵生産学科
		フ	物質科学科
			物質科学工学科
			物質工学科
		フ	物質生物科学科
			物質生物工学科
			物質生命工学科
			物質生命システム工学科
			物質分子科学科
			物質分子工学科
			物質理工学科
			プロセス工学科
			分子工学科
			分子システム工学科
			分子生物学科
			分子生命科学科
			分子素材工学科
		マ	マテリアル科学科
			マテリアル工学科
		ム	無機材料工学科
		ヤ	冶金工学科
			冶金科学科
			薬科学科
			薬学科
			薬剤学科
			薬品科学科
		ユ	有機材料工学科
		ヨ	窯業工学科
		リ	林産学科
			林産工学科

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称			
ア	アモルファス物性工学	カ	回折結晶学
	安全管理学		界面工学
	安全工学		界面制御学
	安全防災工学		界面電子工学
イ	移動現象論		界面物性
	移動速度論		科学史
	医薬品安全性学		核燃料工学
	医薬分子設計学		核燃料サイクル特論
	医用高分子機能学		核融合概論
エ	衛生工学		核融合工学概論
	衛生薬学		化工熱工学
	栄養学		化工熱力学
	エレクトロセラミックス		化工物理学
	エレクトロニクス材料工学		化工流体工学
オ	応化・プロセス工学		化石エネルギー
		カ	火薬学
			ガラス工学
			ガラス材料
			ガラス状態論
			ガラス物性
			環境汚染物質分析学
			環境物質工学
			感光物性論
			岩石学
			官能基変換論
		キ	機器分析
			機能高分子学
			機能性高分子材料学
			機能性材料工学
			機能性触媒工学
		キ	機能性有機材料
			機能セラミック論
			凝固論及び結晶生成
			金相学
			金属学
			金属加工学
			金属工学
			金属材料学
			金属材料工学
			金属製錬学
			金属組織学
			金属の相変態
			金属表面処理
			金属物性
		ケ	計算溶液特論

ケ	結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	サ	材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理	セ	生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセッシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	ト	毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニューセラミック特論 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 農業学 バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論		
コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学	チ	超高温材料 調剤学	ヒ	
ク	細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学	ス		タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学	フ			
		セ		テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学	ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス		

フ	物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミックス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論	フ	分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	モ	木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	ユ	有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
		ヘ	平衡論 平衡・反応論	ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	ウ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
		マ	膜機能工学 マテリアル工学				
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論				
		ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学				
		メ	免疫薬剤学				
		モ	木材化学				

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

〇〇年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース
〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇年 月 日 号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

年 月 日
(専修学校の所在地)
〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

〇〇第 号

単位修得証明書

〇〇年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科
〇〇年 月 日 修了

氏名 〇〇 〇〇
年 月 日 生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日
〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

受験願書 (A面) の記入例

- (注) 1 2枚複写ですので、「黒のボールペン」でしっかり書いてください。
 2 書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
 3 太線の枠の中だけに文字、数字、○、記号等で記入してください。1マスには1字ずつ記入してください。
 4 ※印の□の中には記入しないでください。
 5 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。
 6 午前の試験と午後の試験を併願受験(3ページ5(1)参照)する場合は、それぞれに受験願書を作成し、願書の上部空白部分に「併願」と朱書して同時に提出してください。
 7 複数受験(3ページ5(2)参照)する場合は、それぞれに受験願書を作成し、願書の上部空白部分に「複数2」又は「複数3」と朱書して同時に提出してください。

「姓」を記入
左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はローマ字氏名を記入してください。

濁点、半濁点は1マスとる。

かい書で丁寧に

郵便番号は正確に

団地、マンションの名称、部屋番号までくわしく記入

試験日と種類を確認して記入

受験地は、大阪大学豊中キャンパスと記入

甲種受験者は、8ページの「願書資格欄記入略称」により記入

9ページの科目免除に該当する方は記入

併願、複数受験をされる方は、それぞれの願書に他種類を記入

危険物取扱者免状の有無を記入

有に○した方は記入

免状のコピーをB面裏に貼る

危険物取扱者試験受験願書(全国共通)

大阪と記入してください。 「名」を記入

申請日を記入

願書B面裏の「都道府県コード」を記入

平日の日中に連絡がつく電話番号を必ず記入

申請日の3か月以内に他県で申請又は受験した場合は記入

主となるものに○をつけてください

免状の写真下の12桁の数字を記入

願書B面裏の「都道府県コード」を記入

※印は、記入しないでください
 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
 枠は該当するものに○を記入してください
 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です

試験センター発行

試験会場への経路

試験会場及びその周辺は駐車禁止です。

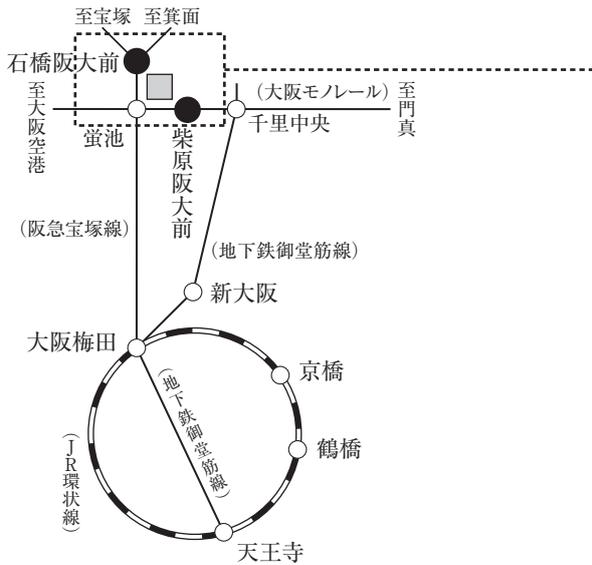
試験会場敷地内は禁煙です。

自動車または自動二輪車（含む原動機付自転車）で来場された場合は、受験できません。
試験当日を含め試験会場への電話での問い合わせや連絡はしないでください。

大阪大学 豊中キャンパス

豊中市待兼山町1-16

- 最寄駅 ・ 阪急宝塚線「石橋阪大前駅」下車、全学教育講義棟・法経講義棟・文法経講義棟まで徒歩約 15 分
 ・ 大阪モノレール「柴原阪大前駅」下車、全学教育講義棟・法経講義棟・文法経講義棟まで徒歩約 15 分



- ・ 阪急宝塚線 大阪梅田～石橋阪大前 ……15分（急行）
- ・ 地下鉄 新大阪～千里中央 ……13分
- ・ 大阪モノレール 千里中央～柴原阪大前 … 6分

